

2015年8月14日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第42号

地下鉄駅に対する爆破予告情報について

8月14日（金）、インターネットの WHATSAPP（LINE アプリに酷似）上で、リオ市の地下鉄駅に対する爆破予告に関する情報が拡散しています。

本件について、当地紙 Jornal do Brasil 電子版が14日、以下の通り伝えています。

- リオ市内の地下鉄駅を攻撃するとして、以下の音声メッセージが WHATAPP 上で拡散している。
 - 本日（14日）のラッシュ時（17時から19時の間）に、最も利用客が多い「パブーナ駅」及び「セントラル駅」の利用を避けるように。
 - （犯人グループは）「パブーナ駅」と「セントラル駅」を爆破するため大量の手榴弾と、爆発物を購入した。
 - 私は大勢の人々が死ぬのを想像したくないのでこのメッセージを送っている。
- 8日、警察が Play Boy（リオ市北部地区の麻薬密売組織のボス）を射殺して以降、複数の音声ファイル、メッセージが飛び交っており、リオ州公安局は、今回のメッセージも同種のものとしている。
- 公安局は、二つの駅の捜査を開始しており、市民に対してパニックになることなく通常の生活を送るよう呼びかけている。

【当館から】

なお、当館から、リオ州文民警察本部に照会したところ、以下の回答を得ています。

「先週の麻薬密売組織へのオペレーション以降、同種の予告電話やメッセージがあらゆる媒体を通じて拡散している。（爆破予告のあった）二駅については、爆発物の捜索を既に実施しており、現時点、不審な情報は入手していない」